

# 平成29年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

①課題:気象変動に対応した金時類の安定生産技術の開発(28~30年度)

代表者:十勝農業試験場 研究部 研究主任 小谷野茂和

## 目的

金時類の生育と気象条件の関係を明らかにし、①金時類の品質・収量を安定させる播種適期を設定し、②窒素追肥が収穫適期に及ぼす影響を解明する。

## 成果

### ①金時類の品質・収量を安定化させる播種適期の設定

・「大正金時」では、おおむね播種期が遅い方が百粒重が重く、子実重も多い傾向にあった。一方、晩生の「福勝」や「かちどき(十育B81号)」では、晩播・極晩播区の収量については、標準かやや劣る傾向であった。

### ②窒素追肥が収穫適期に及ぼす影響の解明

・播種期や基肥量によらず、追肥により莢数、一莢内粒数や百粒重が増加し、増収となったが、倒伏が増加し、葉落ちも遅れる傾向があった。

## 窒素追肥が金時類の生育・収量・品質に及ぼす影響(十勝農試)

播種期	処理 1)	開花期 (月日)	NDVI 2)	SPAD 2)	茎葉重 (g/株)	成熟期 (月日)	倒伏程度 3)	葉落良否 4)	茎折れ個体率 (%)	草丈 (cm)	莢数 (/株)	一莢内粒数 (粒)	子実重 (kg/10a)	標準対比 (%)	百粒重 (g)	色流れ粒率 (%)	窒素吸収量 (kg/10a)
標準	N2kg	7.10	0.49	30.7	63	8.27	0.0	2.0	0.0	37	11.8	2.50	164	95	61.5	8.7	4.7
	N2kg+追肥	7.10	0.51	31.5	66	8.28	0.8	3.7	0.0	38	17.5	2.83	269	156	70.5	6.6	9.6
	N4kg(標準)	7.10	0.66	32.4	88	8.28	0.2	2.7	0.0	44	13.2	2.37	172	100	62.7	8.4	5.3
	N4kg+追肥	7.10	0.68	36.4	108	8.28	0.5	3.3	0.0	42	19.1	2.71	320	186	72.2	4.9	10.9
	N6kg	7.10	0.75	38.6	123	8.29	0.5	2.5	0.0	48	17.7	2.32	230	134	67.4	10.6	7.3
	N6kg+追肥	7.10	0.80	39.8	125	8.28	1.5	3.0	0.0	50	23.9	2.66	351	204	73.3	5.1	11.4
極晩播	N2kg	7.27	0.86	38.9	124	9.20	2.3	2.0	0.4	51	15.0	2.80	256	99	76.4	10.8	8.5
	N2kg+追肥	7.27	0.85	39.0	113	9.21	3.7	3.0	2.4	50	16.2	2.91	306	118	80.0	19.7	11.2
	N4kg(標準)	7.27	0.86	35.4	162	9.20	2.0	2.0	0.4	56	16.0	2.74	259	100	73.7	10.3	8.3
	N4kg+追肥	7.27	0.86	36.1	151	9.20	3.0	3.0	1.1	56	18.4	2.94	331	128	79.7	18.2	11.8
	N6kg	7.27	0.87	38.0	178	9.20	2.5	2.5	0.7	57	17.6	2.87	301	116	76.0	11.7	9.9
	N6kg+追肥	7.27	0.87	37.8	196	9.21	2.5	3.0	0.0	58	20.1	3.00	372	144	77.9	10.7	13.2

1)追肥 標準:7/11、極晩播:7/26

2)NDVI(Greenseeker使用)、SPAD値測定 標準:7/11、極晩播:8/1

3)倒伏程度:0(無)~4(甚)。

4)葉落良否:1(良)~5(不良)。